



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月1日

上場会社名 株式会社 キング 上場取引所 東
 コード番号 8118 URL http://www.king-group.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島 希吉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理統轄 (氏名) 石井 修二 TEL 03-5434-7282
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,871	△25.4	△160	—	△92	—	△245	—
2020年3月期第3四半期	7,866	△1.4	832	△16.9	891	△16.0	591	△17.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △296百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 695百万円 (34.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△13.61	—
2020年3月期第3四半期	32.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,585	20,758	88.0
2020年3月期	24,351	21,164	86.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 20,758百万円 2020年3月期 21,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	△22.9	70	△93.2	150	△85.9	20	△97.1	1.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	24,771,561株	2020年3月期	24,771,561株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,716,108株	2020年3月期	6,716,108株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	18,055,453株	2020年3月期3Q	18,199,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業務予想の前提となる条件及び業務予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により国内外の経済活動が制限されるなか、企業業績の悪化や個人消費の落ち込みにより、非常に先行き不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、外出自粛等による消費マインドの冷え込みに加え、雇用・所得環境の悪化によって衣料品に対する一層の節約志向が継続しており、依然として極めて厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上質・プレミアム」に強くこだわり、付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、店頭運営力の更なる向上と生産管理機能の一層の強化を図り、新型コロナウイルス感染症による影響を最小限に抑えるべく、当社パートナーショップに対する支援策の推進、不採算店舗の撤退、収益性を重視した取引条件の見直し、販売費を中心とした諸経費の削減等、状況に応じた対策を実施してまいりました。

その結果、売上高は58億71百万円（前年同期比25.4%減少）、営業損失は1億60百万円（前年同期は営業利益8億32百万円）、経常損失は92百万円（前年同期は経常利益8億91百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億45百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億91百万円）となりました。

事業セグメント別の状況は以下の通りであります。

(アパレル事業)

「強いものづくり」を変わらぬ基軸とした付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、当社のパートナーショップに対する支援策の推進、不採算店舗の撤退、収益性を重視した取引条件の見直し、販売費を中心とした諸経費の更なる削減等を実施してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されるなか、外出自粛等による来店客数の大幅な減少や消費マインドの冷え込みにより、売上高は48億28百万円（前年同期比26.4%減少）、営業損失は6億5百万円（前年同期は営業利益3億31百万円）となりました。

(テキスタイル事業)

テキスタイルのプロフェッショナルとして自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指し、既存主力先の深耕化、次期主力先の開発強化、次世代人材の育成に取り組むと共に、「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の強化や素材・加工方法の開発推進、提案力向上にも注力し、引き続き、企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めました。

しかしながら、テキスタイル事業においても、新型コロナウイルス感染症の再拡大による消費マインドの更なる冷え込みによってアパレル業界全体が苦戦している背景もあり、売上高は5億9百万円（前年同期比34.9%減少）、営業利益は12百万円（前年同期比83.0%減少）となりました。

(エステート事業)

東京・京都・大阪の各不動産に係る賃貸事業につきましては、引き続き資産の有効活用に努めました結果、売上高は5億33百万円（前年同期比2.5%増加）、営業利益は4億37百万円（前年同期比1.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は235億85百万円となり、前連結会計年度末比7億66百万円の減少となりました。

流動資産は126億75百万円となり、前連結会計年度末比6億22百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、並びに商品の減少によるものであります。また、固定資産は109億9百万円となり、前連結会計年度末比1億44百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物の減少と繰延税金資産の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は28億26百万円となり、前連結会計年度末比3億60百万円の減少となりました。

流動負債は15億36百万円となり、前連結会計年度末比5億9百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少によるものであります。また、固定負債は12億90百万円となり、前連結会計年度末比1億49百万円増加いたしました。これは主に、預り保証金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は207億58百万円となり、前連結会計年度末比4億5百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

なお、自己資本比率は、88.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想は、現時点において、2020年11月6日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,514	10,262
受取手形及び売掛金	885	814
商品	1,741	1,419
原材料及び貯蔵品	41	29
その他	120	156
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	13,298	12,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880	1,758
土地	6,480	6,480
その他(純額)	255	224
有形固定資産合計	8,616	8,463
無形固定資産	304	281
投資その他の資産		
投資有価証券	1,209	1,239
長期貸付金	4	2
繰延税金資産	106	143
差入保証金	585	559
その他	243	239
貸倒引当金	△16	△18
投資その他の資産合計	2,132	2,164
固定資産合計	11,053	10,909
資産合計	24,351	23,585

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	773	678
短期借入金	380	380
未払法人税等	186	27
賞与引当金	188	72
役員賞与引当金	18	13
その他	500	364
流動負債合計	2,046	1,536
固定負債		
長期借入金	50	50
退職給付に係る負債	175	181
資産除去債務	127	121
長期未払金	167	167
その他	619	769
固定負債合計	1,140	1,290
負債合計	3,187	2,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	12,703	12,205
自己株式	△2,244	△2,244
株主資本合計	20,932	20,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232	324
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	232	324
純資産合計	21,164	20,758
負債純資産合計	24,351	23,585

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,866	5,871
売上原価	3,473	2,918
売上総利益	4,393	2,953
販売費及び一般管理費	3,560	3,113
営業利益又は営業損失(△)	832	△160
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	37	32
仕入割引	15	9
貸倒引当金戻入額	0	0
雇用調整助成金	—	16
その他	3	11
営業外収益合計	62	73
営業外費用		
支払利息	2	2
貸倒引当金繰入額	—	2
その他	1	0
営業外費用合計	3	5
経常利益又は経常損失(△)	891	△92
特別損失		
固定資産除却損	14	47
臨時休業等による損失	—	47
投資有価証券評価損	—	105
特別損失合計	14	199
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	876	△292
法人税、住民税及び事業税	206	31
法人税等調整額	77	△77
法人税等合計	284	△46
四半期純利益又は四半期純損失(△)	591	△245
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	591	△245
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104	△50
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	103	△50
四半期包括利益	695	△296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	695	△296
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結会計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月7日 取締役会	普通株式	364	20	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月11日 取締役会	普通株式	252	14	2020年3月31日	2020年6月8日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について
重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,562	782	520	7,866	—	7,866
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	22	27	—	49	△49	—
計	6,584	810	520	7,915	△49	7,866
セグメント利益	331	75	429	836	△4	832

(注) 1. セグメント利益の調整額△4百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,828	509	533	5,871	—	5,871
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	19	16	—	35	△35	—
計	4,847	526	533	5,907	△35	5,871
セグメント利益又は損失 (△)	△605	12	437	△155	△4	△160

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。